

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	26-2
PDCA	主要事業名	市営住宅計画的修繕等整備事業	部課名	建設部建築課	担当 内線	藤井 462	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策：市街地 全体事業期間： 令和 3 年度 全体事業費等： 87,225 千円 会計 一般会計 歳出科目 07.06.01.02.50 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 87,200 千円						
	事業概要等	事業概要：老朽化した市営住宅の修繕等の住環境整備を計画的に実施し、良好な住環境を整備する。					
		事業目的：市営住宅の計画的な修繕及び改修を行うことで、施設の長寿命化を図り、安全安心な住環境を維持する。					
		事業内容：市営住宅の屋根・外壁等の修繕等を計画的に実施する。					
		問題点・自然災害や事故などによる突発的な修繕等が必要となる懸念がある課題等：る。					
	予算額 87,225 千円 財源内訳 市費 0 千円 国費 17,558 千円 県費 0 千円 その他 69,667 千円	主要事業とする理由					
		市営住宅の大規模な修繕等に要する経費を検証し、予算執行の平準化を図るため。					
		得られる成果					
		計画的な修繕等を行うことで、市営住宅の長寿命化を図ることができる。					
		目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
		長寿命化計画の修繕等の実施数／事業数	実績値	—	—	—	%
			目標値	—	—	100	%
			実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
D 値得られた成果と実績	決算額 81,433 千円						
	得られた成果						
	修繕計画に基づき、年度内工期と施工管理の徹底を図り、事業を完了させることができた。						
	成果指標				令和3年度	単位	
	長寿命化計画の修繕等の実施数／事業数		実績値	100	%		
C 課題の整理	事業の評価・課題	B					
		長期的な管理戸数を考慮し、令和3年度は受水槽取替（大高住宅5・6棟、長根住宅、桐ヶ丘住宅）および外壁改修（長根住宅、桐ヶ丘住宅）を実施することが出来た。					
A 課題後の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持					
		市営住宅廃止事業を踏まえ、国の補助を活用し、計画的・効率的な工事施工を行うことにより、入居者の安全安心な環境の保持に努める。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない			

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）
 主要施策の成果報告書で活用